

## ○ ワークショップの意見のまとめ（グループ発表した意見など）

### ■北東部支線

- ・生活エリアに合わせて、バスのルートを考えてはどうか。広瀬林口あたりから生活圏が南北に分かれる。北側の人は、箸尾駅周辺や、王寺町のほうまで行く。南側に行かないし、高田駅の利用もない。また、南側の人は箸尾駅に行くこともない
- ・百済周辺の方は、真美ヶ丘センター周辺への買い物が多いので、直行便があっても良いのではないかと。買い物をする午前からお昼ごろまでだけでも良い。また、図書館へのルートもほしい。
- ・目的に合わせ、エリア（町目単位）から拠点への直行便が必要だと思う。長い時間をかけて一回りするのではなく、短く往復することを考えても良いのではないかと。
- ・高齢の方などの利用を考えると、ルート内であれば、病院の目の前にバス停を設置してほしい。短い距離でも歩くのはしんどい人がいる。
- ・町営住宅は高齢者も多い。町営住宅にもバスを通してほしい。特に、町役場や公民館へ行くときに広陵元気号をよく利用する。
- ・乗ったことがない人に、もっとPRを行ったほうが良い。（無料券を配布するなど）。
- ・現在は赤字となっているため、広陵元気号を維持するために必要なら運賃を上げてはどうか。元気号をなくさないでほしい。
- ・箸尾駅周辺は道が狭いため、今後を考えて、道を広くするなど、バスが通りやすいようにしてはどうか。
- ・バスのルートや便数の充実は大切だが、すべてをバスで賄うことはできないので、デマンド方式やタクシーと組み合わせて利用してもらってはどうか。
- ・通院目的では、診察時間内に到着できるような便をつくってほしい。
- ・高田駅発の最終便が19:10発で早い。また、満車で乗れないことがある。便数を増やしてもらえるとよい。

### ■西部支線

- ・百済・広瀬から、1本でエコールマミや図書館、エバーグリーンへ行ける便を、利用が多いと想定される昼間にあるとよい。
- ・週末は馬見丘陵公園や竹取公園では多くの催しが開催されているので、東部支線からも臨時便でもよいので路線があると、利用が増えるのではないかと。
- ・馬見北4丁目エリアは坂道なので、バスがなく不便であるとの声が出ています。
- ・エコールマミやエバーグリーンなどにも行くのであれば、築山にある生協「なんごう」へ行ってほしい。
- ・奈良交通バスが走っているところでも時間帯によっては行きにくいところがあるし、バス停まで歩いて行けない高齢者もいる。
- ・箸尾駅周辺については、道路をどうしたらよいかについて考える必要がある。
- ・全体として、必要な目的地を設定し、そこを路線でつなぐ設計が必要。そこからはずれるエリアは、デマンドで補う考え方はどうか。
- ・利用目的によって時間帯や行先も変わるため、通勤・通学時間帯の走行と、買物・医療時間帯の走行では別の考え方をしてはどうか。
- ・真ん中の地域に乗り換え拠点を配置し、乗り換えていろんなところへ移動できる方法も考えてみた

らよいのではないか。

- ・運賃については、100 円が 200 円になったとしても財政の負担が 4 0 0 万円ほどしか減らないため、運賃をあげることより現状(100 円)のままで、利用者を増やす方を優先したほうが良い。

## ○ アドバイザーからの講評

- ・生活圏が違う、横の移動、将来的に存続してほしいなどの意見があった。公共交通がなくなると町で生活できなくなる。そういった危機感をもって集まってきていただいたと思うが、次回の提案を楽しみにしたい。
- ・いろいろな意見すべてを実現しようとする、バス車両が 10 台くらい必要になる。東西の交流については現状では直通ではかなわないので、再編ではなく、一から考え直してもよいのでは、と思った。乗り換えが必要になるが、幹線を決めて各地区から細かく運ぶという方法もある。一から考えなおすことも必要なのでは、と思った。